

PC-9800 完全制覇

H.Taido

2023 年 8 月 5 日

ピポッ！

皆さんこんにちは。名誉部長*1
の H.Taido です。

今回は、**PC-9800 シリーズ 完全制覇**ということで、PC-9800 シリーズの大体のことについて説明していきたいと思います。

共に約 30 年前にタイムスリップし、当時の PC やそれを取り巻く文化について見ていきましょう。*2
拙文ではありますがよろしくお付き合いください。

目次

Index

- 98 の概要
- 身近な 98
- 98 の何がいいの？
- ハードの紹介
～機種の見分け方を添えて
- ソフト
～OS の変遷と PC 文化の変容
コラム 98 の歴史
- 今から始める PC-98
～ソフト編
- 今から始める PC-98
～ハード編
- おわりに

第 1 部

PC-9800 って？

ではまず手始めに PC-9800 シリーズとは何か、から簡単にご説明しましょう。

1 Wikipedia

PC-9800 シリーズは、日本電気（以下 NEC、現在は NEC パーソナルコンピュータに分社）が 1982 年（昭和 57 年）から 2003 年（平成 15 年）9 月 30 日の受注終了まで、日本市場向けに販売していた独自アーキテクチャのパーソナルコンピュータ（パソコン）の製品群である。同社の代表的な製品であり、98（キューハチ/キューパチ）、PC-98 などと略称されることもある。

Wikipedia より*3

はいそうです Wikipedia です。これは別に私が調査不足というわけでも書くのをサボっているというわけでもなく、辞書的な説明をするにはやはり百科事典を引用するのが最適であるという研究の成果

なのであります（汗）。

2 補足

とはいえ上の説明では「???」な方もいると思われるので少し補足をば。

PC-9800 シリーズは、1980 年代から 2000 年代まで販売されていたパーソナルコンピュータ（PC）のシリーズの総称です。全盛期には日本中のパソコンの約 9 割がこのシリーズでした。50 代以上の方には馴染みのある響きがあるのではないのでしょうか。

先の文章で、「独自アーキテクチャ」というのが一番わからないポイントだと思います。ここについて深掘りして解説しましょう。現代の PC では、違う PC（たとえば、製造会社の違いなど）であっても同じソフトウェアが動くのが一般的でしょう。実は、これはとても不思議なことなのです。コンピュータという機械はあらゆる部品が複雑に組み合わせられてできています。ですから、これを一つ組み換えてしまっただけでも、もうそのコンピュータの作りは他とは別物になってしまいます。そして作りが違うのなら同じ動作はしなくなるはずです。

*1 我が部では中 3 と高 2 のみ部長になれるため、高 1 は部長になれません。ですが周りから部長っぽい仕事をさせられているうちに名誉部長とか呼ばれるようになってしまいました（笑）

*2 おいお前何歳だという質問には、残念ながら応じることができません。（当時を知る方で間違っていることがありましたらこっそり教えて下さい！）

*3 ウィキペディアの執筆者。 “PC-9800 シリーズ” . ウィキペディア日本語版. 2023-05-04. [https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=PC-9800 シリーズ&oldid=95052434](https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=PC-9800%20シリーズ&oldid=95052434), (参照 2023-08-01).

すべてのコンピュータにまったく同じ部品を使っているわけではありませんから、当然違うコンピュータでも同じソフトウェアが動作することには何か理由があるはずです。なぜでしょうか？

これは、**同じ設計図を元にして、各社がそれに当てはまるようにして作っている**からです。

どういうことかという、まず、あるコンピュータがあります。それには設計図が存在します。そして、次のコンピュータを作るときには、その設計図を元にして、改良を加えながらも元の部品と同じ仕組みで動作する*4ようにするのです。この設計図のことを「**アーキテクチャ**」と呼びます。

現代の PC は x86-64 アーキテクチャに基づいています*5。これに沿って各社がコンピュータを作ること、異なるコンピュータでも同じソフトウェアが動作するのです。さて、PC-9800 シリーズの発売された当初は、まだ業界標準となるアーキテクチャが考案されておらず、各社がそれぞれアーキテクチャを考案していました。というわけで、PC-9800 シリーズは NEC の「独自アーキテクチャ」を採用したコンピュータのシリーズだ、と言えるわけです。

ここまでアーキテクチャについて(補足の域を超えて)かなり詳しく説明しましたが、当然意味もなく説明したわけではありません。この「アーキテクチャの独自性」が、今後の PC-9800 シリーズ (特に歴史) について語る上で、非常に大切になってきます。どのような点が重要なのかは... 次章からのお楽しみとしましょう。

第 II 部

身近な PC-98

概要の説明を終えたわけですが、読者の皆様の中には「ふーん、それで？」と思われた方もいらっしゃるかもしれません。ここで、身近なところに関わっている PC-98*6についてご紹介しましょう。PC-98 について少しでも興味を持っていたければ幸いです。

*4 このことを、「**互換性を持たせる**」と言います。

*5 わかりやすくするため、ISA(CPU の命令セットアーキテクチャ) にのみ触れています。

また、いわゆる「パソコン」では x86-64 が主流ですが、Apple シリコン製 Mac やスマートフォンなどのモバイル端末では「ARM64」アーキテクチャが主流です。

*6 PC-9800 シリーズ全般のことを、以後「PC-98」と呼称します。